

〈お知らせ〉

🌀 プラネタリウム

9月14日より12月5日まで秋のプラネタリウム「月への誘い」を放映しています。秋の星座の説明、月にまつわる言い伝え、月の地形の紹介など月にちなんだ話を紹介します。

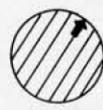
🌙 月食を見よう!

12月30日(木)の夕方から夜半前にかけて皆既月食が見られます。月食は地球の影に月が入り、月が見えなくなる現象です。といっても地球に大

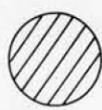
気があるため、皆既月食でも月はほんのりと赤銅色に見えます。主な現象の時刻をあげておきます。



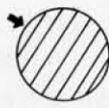
食の始め
18^h50^m.4



皆既食の始め
19^h58^m.2



皆既食の最大
20^h28^m.7



皆既食の終わり
20^h52^m.3



食の終わり
22^h07^m.0

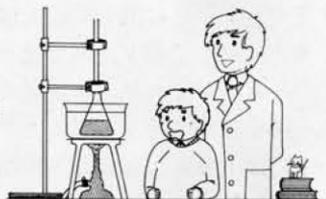
科学教室「プラスチックを作ろう」から

「化学の実験はやってみなければわからない」こんな思いを参加した人がいだかれたのが、科学教室「プラスチックを作ろう」です。この教室は化学の実験を楽しみながら、身のまわりにあふれたプラスチックや合成繊維がどんなふうで作られるのかを理解してもらう目的で、7月31日(土)、8月1日(日)の2日間行ないました。

一日目は酢酸ビニルを洗剤水溶液中で乳化し、重合させます。重合が終わったら、食塩を入れてポリ酢酸ビニルをかたまりとしてとり出します。牛乳のような液から白い大きなポリ酢酸ビニルのかたまりができてきた時は、「こんなに簡単にプラスチックができるのか」という声があがりました。

二日目は前日に作ったポリ酢酸ビニルをポリビニルアルコールに変え、化学繊維ビニロンの細い糸にしました。最初の実験では、今までね

ばねばしていた液体が突然、コンニャクのようなブヨブヨしたかたまりになり、みんなからおどろきの声があがりました。



実験は3つの班に分かれて行ない、それぞれお互いのできあがったものを見比べながら、自分の班のものがうまくいっているとかいなくて、一喜一憂するほほえましいものでした。

どんなに簡単な実験でもやってみないとわからない、そこに化学のおもしろさがあるような気がします。百聞は一験にしかず……です。今後も化学の実験を楽しむ機会を計画しますので興味ある人はご参加ください。(H・H)

参加者の感想から

- ▶ すごく面白かった。中でも糸を作るのと、ナイロンを作るのが面白かった。
 - ▶ プラスチックがこんなに手軽にできるとは思わなかった。はじめはだめかと思ったのに、最後はよくできたので、とてもよかった。また、このような教室にいきたい。
 - ▶ 子供さんから私のような老人まで、どの年代を対象に話……説明……するか大変と思うが、子供さんもそれなりの理解があったようでよかった。
- 分子の結合に模型があれば、もっと理解しやすかったのではなかろうか。ひと通り説明をきいた後での映画は復習の意味でも効果があった。
- 数拾年ぶりに子供さんに交って楽しく勉強させていた

だきました。ありがとうございました。

▶ 学生時代、文化系の学部にいたために科学知識に触れることがほとんどありませんでした。実社会に出て、諸経済活動にかかわるにつけ、科学の基礎的知識の不足を痛感しています。子供達と一緒に作業することで、新鮮な感性に接触できる楽しみもあります。化学(科学)実験は「百聞は一見にしかず」ともいいますから。

▶ 「プラスチックを作ろう」——日常生活の中でつかっている日用品、衣類、接着剤などをあらためて見直すことができました。実験なども化学の授業以来のことで、楽しくさせていただきました。今度は子供をつれて参加してみたいと思います。